

2023年度第1回子どもセンターばあん運営委員会 議事録

1. 新運営委員の委嘱について

4名の新運営委員の選出があり、委嘱を行いました。

2. 2022年度の事業報告について

2022年度の事業報告集に沿って、報告しました。

- ・年間来館者数は44843人で、前年度に比べ6809人増加、コロナ禍以前の状況が少しずつ戻ってきています。
- ・年3回のイベント（誕生祭・夏まつり・冬まつり）は縮小しながらも、食べ物の販売が可能になったので、以前の賑わいを取り戻しつつある状況となりました。
- ・昨年度から新規事業としてスタートした地域連携による多世代間交流の「ばあんブリッジ」は、活動範囲が広がり、南地域の多くの方々が関わるようになったことから、ばあんが主体的に関わらないものにも活動の名称を使えるようにするため、2023年4月からは「みなみブリッジ」という名称に変更し、柔軟性のある関係性を構築していくことにしました。
- ・地域連携の事業数は前年度より、8事業増加しました。
- ・包括連携事業（親子ヨガ・テニピン）をメガロス町田との連携により3月に実施しました。今年度も連携事業は実施予定です。
- ・4年ぶりの実施となった「みんなで歩こう境川！」も3月11日に実施、約9時間かけて全員でゴール、子どもたちにとって貴重な体験となりました。
- ・3年目を迎えた「ばあんミュージアム」は3月19日に実施し、今回はホストタウンであるインドネシアをテーマにしたプラネタリウムや工作、パスポートや航空券など子どもも大人も楽しめるたのしいイベントとなりました。

3. 2023年度の運営について

①誕生祭の実施報告について

☞別紙資料1

資料1に沿って、子ども委員会の委員長が報告しました。

来場人数832人、今回から従来通りの模擬店が久しぶりに再開されたこともあり、盛大なイベントとなりました。

子ども委員会は脱出ゲームを出店。無料で何度でも挑戦してもらえるように工夫しました。初の試みとしてBリーグ（バスケットボール大会のプレ試合）を行いました。また、エンディングで大人も交えたドッジボール大会を行い、大いに盛り上がりました。

お祭りの準備などを通して4月から子ども委員会への参加者がかなり増え、誕生祭も楽しかった様子。新しく入った子が更に新しい子を連れてくるような流れができつつあるので、みんなで楽しく活動できるよう、話し合っています。

②利用状況について

☞別紙資料2

資料2に沿って、館長が報告しました。

- ・今年度に入り、利用者数は昨年比20~30%増となっていて、特に中高生の利用が多くなっています。中学1年生の集団が夜9時までの利用、平日午前中に中高生が来館し、勉強している子もいる。お手伝いなども積極的に行ってくれるが、関わり方に配慮している。一方、職員の顔触れが変わって来づらくなっている子もいる傾向もあります。利用者数が多くなるのは水曜日、外で過ごせない日となっています。

③今年度事業等について

- ・広報まちだ（7/1号）の1面に、ばあんの子どもたちがたくさん載りました。

主にともだちクラブ、お話会、子ども委員会の子たちが撮影に協力してくれました。

- ・夏事業について
申し込み方法にインターネットを取り入れたが使いやすいよう活用してもらっている様子。
- ・テレビ取材について
ばあんの利用者だったレイナさんの関連でテレビ東京「流派R」の取材を受けた。
- ・まちだ若者大作戦について
今年から始まった3年間継続事業。まちだの若者の「やりたい」を実現する企画。計画づくりを支え、最終的には補助金を受けて実現していく予定。
ばあんでは「野外ライブ」をやりたいという申し出がある。現在、つるま公園を希望しているが、難航している。
また、中高生がごはんをつくりたいなどのお金がかからないものについても、希望があったが、こちらはばあんの事業として実現していく。
- ・キッズオリンピックについて
南ブロックの健全育成地区委員会の皆様にブース競技へのご協力をお願いしました。後日、協力についてのアンケートで回答をいただく。

④夏まつりの実施について

子ども委員会では、「笑顔をたやさないばあん天満宮」というメインのタイトルを決め、お祭全体を神社の縁日のようにしたい。子どもたちの考えに沿って大人たちも出し物を考えていくことにした。

ばあん子ども委員会：射的・輪投げ・ヨーヨー

つみき子ども委員会：ゲームコーナー

南第一さくら学童3年生：ゲームコーナー

まつりのオープンは10時と模擬店の販売開始は11時からとする。

貸し出し物品について、早い者勝ちにならないよう、各団体の希望を調整したい。

ステージにはバンドの子たちも出演する。バンドを始めた子たちを中心にばあんのすたじお利用も増えている。

市民センターまつりも同時開催のため、来館者が互いに行き来するようスタンプラリーなど協力して実施する。

⑤その他 情報交換

- ・最近子どもたちの元気がなくなってきた気がする。寄与したい。
- ・祭りへの協力だけでなく、子ども委員会等の活動にこれからも還元していきたい。
- ・南第一小学校150周年で、タイムカプセルをオープンするイベントを開催予定だが、実施方法など、当時の卒業生などに声掛け、協力を依頼したい。
- ・コロナ前と同じ状態が戻り、うれしく思います。
- ・地域の活動を支える役員は一年交代のため継続で人を残すことができないという課題がある。
- ・運営委員会への参加は初めてですが、がんばりたいと思います。
- ・地域のことでお役に立てればと思います。

<今後の予定>

- ・第2回運営委員会→2023年11月10日（金）
- ・冬まつり→2023年12月17日（日）
- ・第3回運営委員会→2024年3月8日（金）